



矢高諏訪神社秋季祭典の連合大三國

飯田、下伊那地域の秋祭りでは最初に行われる県の矢高諏訪神社秋季例大祭が8月16日及び17日に行われ、氏子らは下山区・上山区・中平区・下茶屋区・上茶屋区・東山区・西山区の七区で五穀豊穡、無病息災、地域発展などを祈願し盛大に行われました。16日の宵祭りには、七区の御輿13基が区内をきおって神社に集結。境内の石段を駆け上がる勇壮な姿が見所です。午後7時から12基のスターマインと1200発の煙火が夜空を焦がし、市街地では見栄えする5号玉が祭りを彩ります。一番の見所は、社殿前で行われる「連合大三國」で、花火師の腕の見せ所。社殿前から火の矢が放たれ、大三國の導火線に火が移ると火柱が吹き上がり、総勢21名の若者が火の粉浴びて、祭りは最高潮に達しました。

コラムかなえ

CONTENTS

- 地域振興
かなえを花でいっぱいプロジェクト
- 環境衛生
萱垣坂の草刈り・合同研修
- 子どもを育む
県コミュニティスクールほか
- 健康福祉
ふれあい広場・文化祭ほか
- 消防団
秋季非常召集訓練ほか
- 生活安全
秋の交通安全運動

～景観まちづくり～「かなえを花でいっぱいプロジェクト」 ガーデニングコンテスト結果発表・文化祭において表彰

■家庭部門

- ・最優秀賞 牧野義彦さん(下山)
- ・優秀賞 杉山志づ子さん(下山)
- ・市民特別賞 沢柳厚司さん(切石)

■コミュニティ部門

- ・最優秀賞 夢ガーデニングクラブさん
- ・優秀賞 東鼎高齢者クラブ東寿会さん
- ・市民特別賞 対象者なし



コミュニティ部門 最優秀賞



家庭部門 最優秀賞

ガーデニング講習会と
ガーデニングコンテスト
を終えて
総務文教部長 牧島 龍雄



ガーデニング講習会 冬の寄せ植え

地域のなかを歩くと、プラ
ンターや庭に花などを植えて
楽しまれているご家庭が多く
あるように見えます。花のあ
る光景は観ている方も心が和
みます。花木を育てる個人の
楽しみが、街の景観の一部と
なつて潤いを深めることにつ
ながる……。まちづくり委員
会がこの取り組みをはじめた
思いでもあります。

皆様のご協力によりまし
て、今年度は一区切りとなり
ました。参加していただいた
方はじめ、講師の先生、熱心
に準備してくれた事務局の皆
さんに感謝申し上げます。そ
して、このプロジェクトが長
く続き拡がることを願ってい
ます。



ガーデニング講習会 冬の寄せ植え

ガーデニング講習会
に参加して
下山区 石原 護

今回この講習会に夫婦で初
めて参加いたしました。冬の
寄せ植えとガーデニングと聞
いてとても楽しみにしており
ました。植え方やポイントな
どプロのお話をきいて、なる
ほど!と思うことがたくさん
あり勉強になりました。また、
花を通じて参加者の方ともお
話ができ、充実した楽しい時
間でした。今回作った寄せ植
えが日々変化して、春にチュ
ーリップが咲くのが今から楽
しみです。

花や緑がいっぱいのまちづ
くりを通じて、鼎が益々魅力
ある場所になるといいと思
います。



11/8 妙琴公園歩道等整備作業への参加者

妙琴公園の
将来構想について

リニア開通後の妙琴公園の
在り方については、リニア工
事の完了時期が先延ばしにな
ったことなどを背景に、今年
度から「ふさわしい公園のあ
り方」を地域ぐるみで検討し
ていくことが確認されていま
す。これまでに、隣接する羽
場地区まちづくり委員会役員
をはじめ、地域の関係者等と
の意見交換、さらには、現地
確認や鼎壮年団・妙琴公園愛
護会との歩道等整備作業を実
施しています。現在、将来構
想の検討組織の立ち上げに向
け、準備を進めているところ
です。

防災体制の強化と防災士の立ち上げについて

自主防災部長 奥村仁司

このたび、県自主防災会では、災害時における防災体制の見直しを行いました。これまでであった総務委員会は区長を班長とする班編成とし、区長が出動できない場合は、あらかじめ代理者を定めることとしました。また、それぞれの班には業務委員を配置し、有事の際には班の活動が機能するように配慮しました。全ての区には防災無線を配備し、相互の情報伝達・把握が迅速にできるよう環境を整えたところだ。

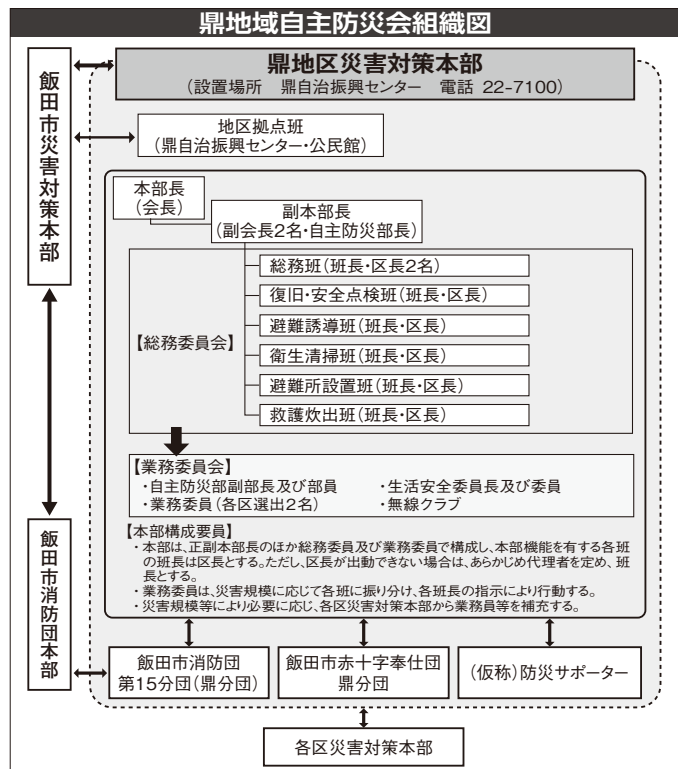


居住班と活動班による「避難所運営会議」

新たに、2年任期である自主防災会の空白を埋めるため、防災士の育成支援に取り組んでいます。7月には「防災士」の資格取得希望者を募ったところ10名が参加。11月20日に開催された「県地区防災士会結成会」には、歴代消防団経験者の資格取得者など、約30名余の皆さんが参加されました。今後は、防災士のメンバーを中心に、「(仮称)防災サポーター」組織を結成し、より実行性のある防災体制づくりを目指してまいります。



「食料・物資班」による食料の受け渡し



県のマスコットキャラクター「かなにゃん」が変身

飯田OIDE長姫高校 商業科3年 地域人教育県班

「かなにゃん」は、平成27年度の飯田OIDE長姫高校の地域人教育において、当時の県班の高校生が考案したキャラクターです。「県スター」というリングをモチーフにしています。地域の方に「県スター」のことを知ってほしい、忘れないでほしいという先輩方の想いから発案されました。

今年度、全戸配布で県地区の皆さんにアンケートをとったところ、「かなにゃん」を知らない人が多くいることが

分かりました。そのため、「かなにゃん」を県の皆さんに知ってもらいたいと思いました。そこで、新しい「かなにゃん」のイラストを作成し、ヨシザワ印刷さんにご協力いただき、「かなにゃんシール」を制作しました。県小学校や文化祭でモルツクを体験してくださった方に配布をしました。多くの方に「かなにゃん」を知っていただく機会になり、作ってよかったと思いました。



環境衛生

萱垣坂の草刈り

上山支部長 楯 賢蔵

上山区では年2回、萱垣坂とその周辺の通学路の草刈り作業を行っています。9月28日に今年2回目の草刈りを、下山区・名古熊区の皆さんと一緒にやりました。上山区では自治会役員（環境衛生委員会）だけでなく小中PTA、勤労協等の皆さんにご協力していただきました。

夏の間に伸びた草が歩くスペースの半分を占め、子ども達はこの草を避けるように歩



いていました。雨の日には濡れないように歩くのが大変だったと思います。また、土手から伸びた木の枝が通学路に覆いかぶさってきていました。車道には、くずの茎が伸び出ていました。このような草や枝を草刈機や鎌で刈り、手作業で取り除いていきました。1時間ほどの作業でしたが参加した皆さんの協力できれいにすることができました。これで子ども達が気持ち良く登下校してくれることでしょうか。大切な作業なので今後も続けていきます。



婦団連との合同研修会

テーマ「食品ロス削減と持続可能な社会を考えよう」の講演を聞いて

一色女性部長 土屋 泰子

日本は飽食国家と言われているが、本当にそうなんだろう？世界に目を向けると中東ガザにおいてはイスラエル

による戦略的封鎖による食糧支援が止まり飢餓状態にあると報道されています。食べる物の無いガザ地区で、やせ細った幼い子どもが母親に抱かれている姿のその映像は余りにも痛々しく、また東南アジアの片隅では幼い子ども達が家族を養う為の僅かなお金を得るために体を売ったり不衛生な環境下でゴミ拾いをしながら一生懸命に生きている姿が報道で毎日流されています。その中、日本に目をやると貧困とは決して無縁ではなく、一部の子どもは学校給食のみで飢えをしのいだりする中でも、子ども食堂があることから本当に助かると言った言葉を聞くにつけ、自分の生活が余りにも無責任ではないかと問うてしまう。

研修会で国内では年間約46万トンもの食材が破棄され、一人当たりに金額換算すると一年間で6万円もの食べ物を捨てている計算になると知った。「もったいない」との言葉が死語にならないよう、家庭、学校、職場などのどんな場においても、お互いにこの言葉が普通に使われ、食物に限らず全ての物に感謝の念を

忘れずに生活をしていくことを改めて考えさせられた研修会であった。



まだ食べれる物を捨ててしまうなんて「もったいない」にやん！食品ロスは地球温暖化にも繋がっているから環境にもよくないのだ。みんなで食品ロス・ゼロを目指そうにやー！



ふるさと県ふれあい広場・文化祭にて

11月1・2日に行われた文化祭ではNPO法人いなだに

竹Link'sさんにご協力いただき環境問題でもある放置竹林についての展示会を行いました。また、ウォークラリーでは「ガラス瓶の捨て方」について出題し、イラストの大型パネルの展示やごみ出しガイドブックを見て答えを探してもらい楽しくリサイクルについて学んでいただくことが

地域の皆様へお願い

河川や用水に刈草を流さないで下さい!! 用水や河川への投棄は不法投棄です。刈草を用水に流すと下流域で草が詰まり大変迷惑です。河川へのごみの投棄は絶対にやめましょう。



ができました。





県コミュニティ スクールについて

委員長 森 貴

コミュニティスクールとは、地域住民や保護者の方々が学校と協働し、子ども達の学びを支える仕組みです。また、地域の代表や保護者代表、地域で子育てに関わっている方などで組織する『学校運営協議会』で学校の運営方針の承認や、学校運営の評価をしています。

「学校」では「地域」を生かした学習を行っています。高校生との学習、保育園との交流、高校見学、職場見学など、さまざまなことに取り組んでいます。中学生ボランティアアステーションへの参加生徒数も年々増えています。「地域」では、子ども達に様々な体験をしてもらいたいという思いでイベントを企画しています。県各地区の伝統

的な行事、公民館での体験事業、子どもを育む委員会でも6月末にサイエンスショーを実施しました。サイエンスショーでは非日常を味わうことができ、良い体験ができた。と多くの声を頂きました。

「家庭」ではPTA作業、登下校の見守り隊など、様々な活動で子ども達を支えていただいています。子どもを育む委員会でも各支部、登下校見守り隊を結成し、定期的に見守りを行っています。

学校運営協議会の中でも、地域で計画された行事にもつと参加してもらいたいという声が出ています。お子様と一緒に行事や活動に参加して、地域探求や異年齢交流、地域の魅力の再発見を試みませんか。

中 平 二つの学習会

中平区では、矢高神社春季祭典での青獅子への警護協力に始まり夏の納涼祭への参加夏の学習会の開催、矢高神社秋季祭典子ども神輿への警護等行つて参りました。その中で、今年度は二つの学習会を行いました。

一つ目は公民館と子どもを育む委員会の二者共催での夏休み学習会で、7月30日から3日間小学生を対象として行いました。



二つ目は、今年初めて蜚の学習会を小学校PTA中平支部の皆様と共に催で行いました。中平区の松川河川敷にある「ほたるの郷」という池で行いました。昨今、県の街中で蜚を見かけることが少なくなつてしまいましたが、「ほたるの郷」においては、6月中旬から7月中旬位の約1か月間蜚を見ることが出来ます。昼間の明るいうちに蜚の発生する池を見学、観察して中平区長さんから蜚についてのお話をうかがいました。今年は蜚が舞い始めた6月中旬に、PTAの皆様にはラインを通じて蜚が舞い始めたことを知らせ、夜親子で蜚を見に来てもらいました。おじいちゃんお



ばあちゃんといく来る子も見かけられました。蜚を初めて見る子どもも多く、喜んで蜚を見ていました。

今後も「ほたるの郷」を静かに見守り、蜚を観察していただきたいと思っています。

東 県 おもしろ科学工房

8月31日、小学生が楽しみにしている出前講座を今年も開催しました。南信州いいだおもしろ科学工房の2人の先生のご指導のもと、県中学校出身の女子高校生5名のボランティアの方が、丁寧に優しく小学生達に教えてくれました。とてもありがたかったです。

まずは、『無限グライダー』です。スチロールをハサミで切ったり好きな模様を描いたりして、後は飛ばすだけです。



が、簡単そうでなかなか難しい。皆で考えながらうまくいくまで頑張る姿がありました。次に『ふわふわUFO』です。2個のプラスチックコップの底をテープで留め輪ゴムを使い飛ばします。すると回転しながら空中をふわふわと飛んでいきます。子ども達は物を作るにも完成した作品を飛ばすにも興味津々で私達もたいへん勉強になりました。

これからも皆様の要望をお聞きしながら、小学生の良い思い出作りとして楽しい企画ができればと思います。



健康福祉

ふれあい広場・文化祭

総務運営部会長

(下茶屋) 加藤 善弘



模擬店会場 消防ポンプ車展示

11月1日(土)・2日(日)に「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」が開催され、大勢の方々に来場いただきました。健康福祉委員会が主に担当する「ふれあい広場」では、公民館大駐車場の各種団体の協力による模擬店・フードドライブ、体育館での展示・絵

手紙制作を行いました。初日は、少し雨が降りましたが、昨年中止になった模擬店は無事開店でき、フードドライブも多く持ち込みがありました。体育館では、見守活動の対象となっているひとり暮らしの高齢者等の方に年始状として送る絵手紙制作を行い、多くの皆様に筆をとっていただきました。

二日目は、好天に恵まれ、大駐車場での青空食堂は、大勢の方々に賑わい、フードドライブも、初日に続いて予想以上の持ち込みがありました。絵手紙制作は、大勢の来場者と関係者の協力もあり、100枚を超える作品ができました。フードドライブも家庭等で余っている食品をお持ちいただ



模擬店会場 餅つき

き総数214点、総重量68・809kgを集めることができました。今回は、飯田OIDE長姫高校の生徒さんからもご協力いただき、フードドライブ活動の広まりを感じました。最近では物価高騰により、食品が集まらなると予想していましたが、その中でも多くの食品をご提供いただきました。



絵手紙制作風景



フードドライブ

皆様のフードドライブへの意識の高さ、足を運んでいただいたことに、心より御礼を申し上げます。

最後に、来場された皆様、各スタッフの皆様のおかげで、「ともに助け合い、協力し合い見守り合っていく福祉のまちづくり」をひとつの目的とした「ふれあい広場・文化祭」が大成に終わったことを心から感謝を申し上げます。

昼神温泉日帰りツアーへ

上山支部長

山崎りえ子

高齢者外出支援事業の一環として、上山支部では恒例の日帰り温泉とビュッフェスタイル(いわゆるバイキング)の昼食会を9月6日に行いました。

『湯多利の里 伊那華』に電話で予約、体調による当日キャンセルもやむなしというゆるい受入れをしていただけ、何より20名以上の人数をマイクロスで送迎していただけるのは、企画する側として大変ありがたいことでした。

到着までもなく、まずは温泉に入浴。入浴はバスという方は足湯のコーナーへ移動。阿

知川を見下ろすベンチで、残暑の中、川風を感じおしゃべりに興じていると、いつの間にかやら自販機で缶ビールを購入してくつろぐ方も。自然の中、ゆったりとした時間を過ごすのは至福の時でした。

入浴・足湯の後は昼食会場へ。トレーを載せて押して歩けるカートがあり、友だちの分も運んでくれる世話好きな方ばかりなので、ちよつと歩くのが大変な方も平気です。好みのアルコール類も注文でき、賑やかな食事会となりました。普段お話す機会のない方とも、なんだか饒舌になつてしまう楽しい時間でした。地域の方々と食事を共にし語り合えるのは、コロナ禍を過ごした後だからこそ、いっそう貴重な時間を感じました。



上山 外出支援事業

消防

鼎地区防災訓練

8月31日(日)に実施された鼎地区防災訓練に消防団も参加しました。

訓練では、実際の災害時に使用される鼎中学校体育館にて、会場の設営を行いました。本番を想定し、実際に会場設営を行うことにより、改善点や課題等を共有することができ



き、災害時に備えるための、有意義な機会となったと思います。

鼎地区縦断駅伝大会



9月7日(日)に開催された第37回鼎地区縦断駅伝大会に参加しました。

第15分団には、自動車班、救護班、一色班、切石国道班、切石上班、名古屋班、東鼎班の7つの班がありますが、各班が1つのチームとしてタスキをつなぎ、無事完走することができました。

鼎地区の方々に消防団が火災出動だけではなく、様々な活動をしていることを知っていただけたら幸いです。

秋季非常召集訓練

9月30日(火)の夜間に、地域住民の方々と伊賀良消防署様の協力を得て、J Aみなみ信州鼎支所にて秋季非常召集訓練を実施しました。

今回の訓練は、取水可能な水路と火点との距離が長い場合を想定した訓練を実施しました。取水場所が遠い場合、ポンプ1基のみだと圧力不足により放水することが困難なため、途中で他班のポンプに中継しながらの放水する必要があります。そのため、今回の訓練は、機関及びポンプ、2基ずつ計4基を中継し長い距離での放水を行うことができる訓練としました。

夜間における作業時の安全の確保、長距離における放水時の各班の連携を学ぶことができた有意義な訓練になったと思います。

冬場は就寝時の暖房器具の消し忘れ等により夜間の火災発生も大いに考えられますので、今回の訓練の経験を踏まえて活動にあたりたいと考えております。

最後に、夜間で周囲が暗い

中、訓練にお越しいただいた方々、訓練にご協力いただいた各団体及び近隣住民の方々に厚く感謝申し上げます。



各イベントへの参加

10月19日に飯田短期大学で行われた第59回アカシア祭に参加しました。近隣分団と放水体験を行いました。

来場いただいた大人や子ども、短大生など老若男女問わず多くの方に参加いただきました。

11月1日(土)から11月2日(日)にかけて開催された鼎ふれあい文



団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

080-1294-5298

メール rih_mish@icloud.com



化祭にて、土曜のみではありませんでしたが、消防ポンプ車の展示を行いました。

お子様方に消防ポンプ車に触れていただき、笑顔で写真撮影等していただきました。

生活安全

秋の交通安全運動

副委員長（一色）
北澤直志

9月21日（日）から9月30日（火）の期間で秋の全国交通安全運動が実施されました。運動期間にともない、県地区生活安全委員会でも9月22日（月）の午前7時から東郷交差点にて人波ルート作戦、同日午後3時30分から国道153号線の上郷別府交差点にて第2ブロック合同人波作戦を、また



9月28日（日）午前10時より東郷交差点にて交通指導所を開設しました。

「第2ブロック合同人波作戦」では、上郷、座光寺、松尾地区と4地区合同で交通安全の幟を手にドライバーの方々へ安全運転をアピールすることができました。「交通指導所」では交差点にて信号待ちで待機中のお車の方へ交通安全のチラシやテッシュ等を手渡しで配布して、安全運転への意識を促す活動ができました。

誰しもみな望んで事故の加害者や被害者になっているわけでは無いのに、交通事故は起きてしまいます。自分自身も普段車を運転する中で、気を付けていても安全運転への意識が希薄になってしまつて



いることが多々あります。交通安全運動の活動が僅かでもドライバーの方々に安全運転への意識向上へ繋がって、少しでも事故が減少するように願ってなりません。

明星保育園交通安全教室

中平支部長
黒河内守仁

穏やかな日差しの中、10月28日（火）今年2回目の明星保育園交通安全教室が行われました。

保育園の近くに行くと、おまわりさん2名がパトカーと一緒に来ていて子どもたちも喜んでいました。

園庭に集まりおまわりさんから注意すること聞き、いよいよ訓練の始まりです。今年には熊が出るとのこと、ルートを少し変更して行われました。ほし組さん、つき組さん、にじ組さんと別れ、道の歩き方、横断歩道の渡り方、信号機の渡り方など課題を持ちながら行われました。

私はつき組さんと一緒に歩きました。いつもの散歩とは違うため少し緊張した様子でした。交差点や交通量の多い

横断歩道の渡り方や駐車場から出てくる車の対応など子ども達も覚えなければならなくて大変だったと思います。

横断歩道で止まっていたいたドライバーの皆さんご協力ありがとうございました。全員歩き終わったところで、おまわりさんから右見て左見て手をあげながら渡れてよかったと褒めていただき、最後に「チャイルドシートに座ってね」、「駐車場ではお父さんお母さんと手を繋いでね」と2つの約束をしました。

車、バイク、自転車に乗っている皆さん、子どもを見つけたら飛び出して来そうと思つたら、どうか減速してください。数秒スピードを落とすだけでも目的地に着く時間は変わ



りませんから。純粋な心を持つ子どもたちを守るのはあなたです。

県あかり保育園でも実施されました



県消防団の秋季非常召集訓練に協力しました

